

令和5年11月2日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

豊川市民病院における防災訓練（トリアージ・災害医療訓練）の実施について

実践的な訓練を実施し、災害拠点病院としての体制強化を図ります。

豊川市民病院では、令和5年11月6日（月）に大規模地震を想定した防災訓練を行います。今年度は、当院の災害派遣医療チーム（DMAT）によるコントロールの下で、実践的な訓練を実施することにより、災害拠点病院としての体制の強化及び職員の防災意識の高揚を図ります。

つきましては、ぜひ当院にお越しくくださるようご案内申し上げます。

記

1 日時

令和5年11月6日（月）午後2時50分～午後5時00分まで

2 防災訓練実施計画

別紙のとおり



【お問合せ先】

豊川市民病院庶務課 管理グループ 波多野、福井、加藤
TEL:0533-86-1111 E-mail: byoinshomu@city.toyokawa.lg.jp

令和5年度防災訓練実施スケジュール

項目	14:30	14:50	15:00	15:30	15:40	16:00	16:30	16:50	17:00
						災害診療体制			
地震発生		★							
本部長・評価員・情報センター員・電カル対応 本部参集			↔						
本部開設、運営			←						
院内被災状況確認			←						
職員在院状況確認			←						
他医療機関被災状況確認、医療ニーズ検討			←						
患者搬送班・患者役 トリアージエリア参集			↔						
訓練開始位置への患者役誘導			←						
ウォークイン患者出し									
患者搬送									
消防からの救急搬送要請			15:15 ★						
災害診療体制移行			15:19 ★						
各エリア担当職員 担当エリア参集									
各エリア開設準備、打ち合わせ									
ウォークイン患者トリアージエリア来院									
トリアージエリア患者受入れ									
赤・黄エリア患者受入れ									
検査科・放射線科への搬送									
院長講評(講堂)								16:50~	

令和5年度防災訓練 概要

1) 目的

当院は地域中核災害拠点病院に指定されており、東三河南部医療圏における災害医療の中核的な役割を担う病院である。災害時には多くの方が来院、搬送されることが予想されるため、職員は当院の役割を理解し、迅速に対応できる必要がある。

そのため、豊川市民病院 BCP 及び災害マニュアルの検証や職員の災害時対応の理解を深めることを目的とし、東日本大震災規模の地震を想定した地震対応訓練を行う。

2) 訓練のポイント

1. BCP、災害マニュアル、アクションカードの有効性と整合性の確認
2. 各エリアの効果的な設置・運営
3. 効果的な災害対策本部の設置・運営
4. 災害対策本部・各エリア・各部署間の連携強化

3) 実施日時

令和5年11月6日(月)14:50~17:00

4) 訓練スケジュール

- 14:50 地震発生・訓練開始
- 15:00 災害対策本部設置
- 15:19 各エリア立ち上げ開始
- 15:40 災害診療開始・患者役受け入れ
- 16:50 訓練終了
- 17:00 講評後解散

5) 訓練項目

1. 災害対策本部参集及び設置訓練
2. 各エリア参集及び設置訓練
3. 患者受入・トリアージ・災害医療訓練

6) 想定シナリオ

- ・訓練は地震発生の発災直後の状況下で行う。
- ・11月の平日14:50に豊川市内で震度6強の地震が発生。
- ・災害対策本部を設置、通常診療の中止・災害診療を行う必要があると判断する。
- ・災害診療実施のため、外来患者及び来院者の帰宅誘導を行う。(今回訓練なし)
- ・災害診療エリアを設置し、災害診療を開始する。
- ・地震発生後のライフライン(訓練想定)
 - 電気 : 停電し、非常電源が作動する。→赤コンセントのみ使用可能。
 - ガス : 業者点検が必要なため使用禁止。
 - 医療ガス : 破断の恐れあり。点検完了まで使用禁止。ボンベ対応。
 - 上水道 : 使用可能。

下水道・トイレ：使用可能。

電子カルテ：使用可能。

エレベーター：使用するには業者点検が必要なため使用禁止（EV 自己判断機能では正常）。

院内通信手段：固定電話・PHS・館内放送・トランシーバーが使用可能。

※トランシーバーはR6年度からは使用しない。

・地震発生後の技術・処方の制限（訓練想定）

検査：使用可能な機器のみ検査可能

放射線機器：X-P、CT、血管造影等放射線検査が可能。

薬剤：緑エリアは臨時薬局から提供できるものだけが原則使用可能。

赤・黄エリアは災害用備蓄医薬品が使用可能。

輸血：血液センターからの製剤供給の目途なし。

血液製剤（RBC）の在庫数には限りのある状態。

・参加者数（R4年度実績：85名）

参加者 96名

・トリアージ 7名

・緑 0名

・黄 6名

・赤 12名

・情報センター 6名

・災害対策本部 27名

・患者搬送班 6名

・患者役 15名

・DMAT 隊員 9名

・その他 8名

7) 訓練場所

本部：3階第1, 2会議室

トリアージエリア：ロータリー前（正面玄関付近）

緑エリア：ロータリー前（時間外玄関付近）

黄エリア：1階 講堂1

赤エリア：1階 講堂2, 3（災害マニュアル上は救急外来だが、訓練当日も使用しているため）

黒エリア：2階健診センター

8) 全体説明会（参加者顔合わせ）

1階講堂にて実施。

・災害対策本部向け 10月25日（水） 16:00より

・各エリア向け 10月26日（木） 17:00より

11月1日（水） 17:00より

9) 備考

- ・可能な限り実際に行い、運用を検証する。被害状況の確認や人数把握も実際の工程で確認し本部へ報告する。
- ・エリア立ち上げの物品調達については、各エリアに準備してある物を設置する。
- ・訓練直前の説明会では災害対策本部及び赤エリア・トリアージエリア担当に対しDMA Tより指導を実施する。
- ・DMA T隊員は災害対策本部及び赤エリア・トリアージエリアにて評価者やコントローラーとして活動する。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて訓練規模等の変更をする場合がある。